



## ～プレゼンテーションの戦術～ 授業を創ろう！～

農学部 生物資源環境学科 小谷草志 (左)  
(’06 入学) 小谷草志 (右)

「なんで学生が受ける授業なのに学生からの声を拾わないんや？」と思ったのが一番初めのキッカケでした。ある日、それを先輩にめっちゃ語りました。そしたら、なんか本名理事とお話が進み、「授業の改革に学生の意見を!!!」みたいになって授業改革の会議がスタートしました。

そんな会議の中で、「もっと学生の授業に対する関心と学生が受けたいと考えている授業を知るためにはどうすればいいのか。」という問いから今回のような「学生が授業を創る授業」を提案し、実現することが出来ました。授業創りというのは初めてでしたがまずは「何がしたいかなー。何が学生に必要なあ」と考えました。そこが決まれば、後はシラバスを書いて、授業を始めたらいいさ…とかバカなことを考えていました。しかし、90分の授業はそんなに甘いものではありませんでした。実は、ここだけの話ですが自分も油断せずやろうって思っていたし、そんなに甘いもんちゃうのはよくわかっていました。ただ、そんな浅はかな予想よりもっと難しく、もっと高度でした。

その中でやはり難しかったのは学生側にも様々なタイプや考え方がありますし、もちろん僕らが考えていることが正しいとは限らない。そんな中で一つの目標、目的を目指すことはとても難しかったです。一言で「学生のために」と言っても実際形にするのは難しいということを感じました。しかし、この半年を過ごして、得た知識やスキルには自信を持てます。この先もここで得たものを活用していきたいと考えています。

【小谷草志】

この授業のシラバスに、「『目標を明確にして、一定の期間内に結果を出す』ことの難しさや楽しさを体験してもらいたい」と書いてあります。でもそれは、受講生だけでなく自分たちにも言える事でした。

90分、1回の授業について、どこまで綿密な計画を立て、いかに受講生に有意義な時間を提供できるか。一週間で毎回の綿密な計画を立てなければならない。その積み重ねで15回の授業を通して受講生に何を伝えることができるのか。

毎回の授業内容を詰めていく過程はすごく楽しかったです。気がつけば何時間も経っていることもありました。本当に学生のことを考えた授業作りや、授業進行はとても大変でした。しかしやはりその中でいろいろなことを考えるのは楽しかったし、多くの価値観に触れることもでき、たくさんを学ぶ事ができました。

短い学生生活の中で、『なにか活動がしたい!』と動き出すのに遅すぎる時期はないと思います。大切な事は『日々いろいろな方向にアンテナを張る事』と、『勇気を出して自分から動く事』だと思っています。ひとりが不安なら友達と一緒にでもいい。私自身、くすぶっていた

時間がもったいない！と今になって後悔することがあります。これからは勇気を出して多くの事にチャレンジしたいです。

最後になりましたが、講師としてアドバイスを下さった桐山先生、授業に参加して下さった受講生の皆さんには本当に感謝しています。ありがとうございました。

【浜田将宏】



## プレゼンテーションの技術

地域学部 地域政策学科（'09 入学） **はぎ 原 とし ひろ**  
**萩 原 俊 博**

みなさんこんにちは、今日は現在私が受講している『プレゼンテーションの戦術－授業を創ろう！』という講義についてお話したいと思います。

この授業では『学生の手による授業創り』をテーマとして、効果的なプレゼンテーションに必要な考え方を学ぶことを狙いとしています。更に目標として、①プレゼンテーションやプロジェクト企画などにおいて必要となる基本的な考え方の習得、②プレゼンテーション技術や、それを包括するコミュニケーション力の習得といった項目を掲げています。

これまでの講義では、個人演習やグループ演習を通じて『計画立案図』と呼ばれるチャートを用いた問題発見と解決の技法を学習した後、その考え方にしただけで問題や課題を自ら考え、調べ、形にし、成果としてプレゼンテーションで発表する過程を体験してきました。特に、プレゼンテーション技術については「どのような方法が物事を伝えるためには効果的であるのか」という問いから、声のトーン、表情、身振り手振りを使った説明など具体的な方法論まで踏み込んだ学習を行いました。

昨年の11月、私は公の場でプレゼンテーションを行う機会がありました。そこでは事前にこの講義で学習した内容を活用し、『どのようにしたら限られた時間の中で効果的なプレゼンテーションが出来るのか』を念頭に置きながら構成を考え、スライドを準備しました。結果、全体として筋の通った構成でかつ印象的なプレゼンテーションを行うことができ、また授業内での発表によって人前で話す練習を積んでいたため、当日は多くの聴衆の前でも以前と比べ落ち着いて話すことができました。このような講義で身に付けた知識が実践の場で大いに役立ったという経験によって、もっと上手なプレゼンテーションをしたい、そのためにより高度な技術を身につけたいという思いが強まりました。

現在、計画立案の作成技術やプレゼンテーションの技術に関する私のレベルは、まだ「型」を学びその型に項目を当てはめて思考している状態です。これらふたつの技術をより深く理解し、プレゼンテーションの高度な技術を習得していくためには、試行錯誤しながら既存の「型」に変化を加えていくことが大切なのではないかと思っています。したがって、今後は今まで身に付けてきたこの「型」を参考にしながら、自分なりの「型」を確立していくことで技術のレベル向上を目指していきたいと考えています。